

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和元年9月3日

No.20

校長 坂野修一

避難訓練をしました！



寸暇を惜しんで、校庭の草と戦っています。程良く(程悪く?)雨が降るので、草が良く伸びます。過日、校庭に鹿が侵入し、夜の運動会をしたようですが、残念ながら食事・おやつにする草は、さつまいもの葉であったり低木の葉だったり、校庭の雑草には見向きもしません。たくさんの糞までしてくれました。「踏んだり蹴ったり」とはこのことです。猟師の方、是非ともやっつけて下さい(∇∇)

さて、9月1日は防災の日でした。早川町では、8月26日に防災訓練があったようですが、本校では本日避難訓練を行いました。真剣な面持ちで整然と避難をし、私の話を聴くことができました。私が、子どもたちに話したことは、『「自助」が最も大切であるということ』です。

「津波てんでんこ」という言葉を聞いたことがあるかと思います。「津波てんでんこ」を防災教訓として解釈すると、それぞれ「津波が来たら、各自てんでんばらばらに一人で高台へと逃げろ」ということです。周りに気遣うことなく避難することを非難されたこともありましたが、東日本大震災以降の様々な研究において、「津波てんでんこ」の考え方が正しいことが明らかになってきました。それは、どういうことかといいますと…

「津波から助かるために、人のことは構わずにてんでんばらばらに素早く逃げる様子が周囲に目撃されることで、逃げない人々に避難を促す」ということです。集団心理をうまく使った考え方ですね。近くにいつも大人(先生)がいるとは限りません。「自分で考えて行動し、自分の命は自分で守る」ことが最も大切な万が一への対応…。いつ来るかわからない大地震への心構えを、これからも繰り返し繰り返し子どもたちに伝えていきたいと思います。

◎理科自由研究校内発表会が行われました！

今朝の朝活動の時間は、理科の自由研究校内発表会でした。自由研究といえば、私自身も、何をしようかなあで悩み、後回しの宿題になっていた苦い思い出がありますが、今日の子どもの発表は、とても子どもらしい研究だったと思います。学年代表に選ばれた3人の研究テーマは以下のとおりです。

4年 TM君 さとうと塩をくらべてみる

5年 TF君 身近な布のひみつ

6年 MSさん 10円玉はどの液できれいになる

MSさんが、最後のまとめの中で話した言葉を紹介します。「**研究することは大変でした。でも調べていくことで、研究の楽しさがわかりました**」自由研究のだいご味は、まさに、その言葉に尽きますね…。

◎うれしい一コマの紹介！

*「休み時間が終わって教室に戻る時、校庭の草をちょっと取りながら入ってくれたらうれしいなあ…」と私が言ったら、それを毎日実行してくれる子どもたち…。「ちりも積もれば…」とはこのことです。

*朝の会や集会時には、「運動会の歌」を歌っています。赤と白でそれぞれが声を張り上げ、競い合う運動会おなじみの歌ですが、ものすごい元気な大声で歌う様子が見られます。運動会までこのテンションが長続きするのか心配なくらいの声で… 本校の子どもたちは、本当に健気でかわいい子どもたちです。